

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この演習は、「大学とNPO・企業・行政等の協働による地域活性化」をテーマに学ぶ。演習テーマに関する専門的な知識・ノウハウの学習を踏まえながら、地域を活性化するための独自プロジェクトを企画して、調査研究や実践的な活動を行う。対象の地域は名古屋・愛知、全国各地域、海外のどこでも可能である。地域のNPO（民間非営利組織）・企業・行政・他大学などの人たちと交流・連携（協働）して、一緒に地域の社会・経済を活性化することを目指す。2年間の集大成として卒業論文を完成させる。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	知識・ノウハウの学習、企画立案・調査研究・実践活動の取組みを通じて、地域に貢献するとともに、学問的かつ実社会で役立つ知識・ノウハウ（働く力、生きる力、物事の本質を見抜く力等）を学習する。また、レポート・卒業論文作成と実践のスキル・ノウハウの学習（表現力、コミュニケーション力、情報の収集・分析・発信力、スケジュール管理力、ビジネスマナー、思いやりの力、社会貢献力など）などに取り組む。ディスカッションやプレゼンテーション、実習・フィールドワーク、グループワークの機会も積極的に取り入れる。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	演習の内容・進め方等、大学とNPO・企業・行政等の協働による地域活性化	<input type="checkbox"/>
第2回	地域活性化の実施と卒論(1)	協働による地域活性化に向けた調査研究・実践活動と卒業論文作成(1)	<input type="checkbox"/>
第3回	地域活性化の実施と卒論(2)	協働による地域活性化に向けた調査研究・実践活動と卒業論文作成(2)	<input type="checkbox"/>
第4回	地域活性化の実施と卒論(3)	協働による地域活性化に向けた調査研究・実践活動と卒業論文作成(3)	<input type="checkbox"/>
第5回	論文等作成と実践のスキル・ノウハウ(1)：表現力	調査研究や実践活動のための文書での表現力、口頭での表現力、就職活動・学外活動等のノウハウなど	<input type="checkbox"/>
第6回	論文等作成と実践のスキル・ノウハウ(2)：情報の収集・分析・整理	調査研究や実践活動のために定量情報・定性情報を収集し、分析し、整理するスキル・ノウハウ、就職活動・学外活動等のノウハウなど	<input type="checkbox"/>
第7回	論文等作成と実践のスキル・ノウハウ(3)：スケジュール管理力と社会人マナー	調査研究や実践活動のためのスケジュール管理、PDCAのノウハウ、社会人マナー、ビジネスマナー、就職活動・学外活動等のノウハウなど	<input type="checkbox"/>
第8回	地域活性化の卒論発表(1)：卒論（中間）報告	協働による地域活性化に向けた卒業論文の中間報告(1)	<input type="checkbox"/>
第9回	地域活性化の実施と卒論(4)	協働による地域活性化に向けた調査研究・実践活動と卒業論文作成(4)	<input type="checkbox"/>
第10回	論文等作成と実践のスキル・ノウハウ(4)：コミュニケーション力と協働力と社会貢献力	調査研究や実践活動のために地域・社会の人たちと連携・協働するノウハウ、共同・協働で作業するノウハウ、地域・社会に貢献するノウハウ、就職活動・学外活動等のノウハウなど	<input type="checkbox"/>
第11回	論文等作成と実践のスキル・ノウハウ(5)：レポート・論文作成ノウハウ	調査研究や実践活動の成果をレポートや論文で表現するスキル・ノウハウ、就職活動・学外活動等のノウハウなど	<input type="checkbox"/>
第12回	地域活性化の卒論発表(2)：卒論（中間）報告	協働による地域活性化に向けた卒業論文の中間報告(2)	<input type="checkbox"/>
第13回	地域活性化の実施と卒論(5)	協働による地域活性化に向けた調査研究・実践活動と卒業論文作成(5)	<input type="checkbox"/>
第14回	地域活性化の実施と卒論(6)	協働による地域活性化に向けた調査研究・実践活動と卒業論文作成(6)	<input type="checkbox"/>

第15回	地域活性化の卒論発表(3)：卒論（中間）報告	協働による地域活性化に向けた卒業論文の中間報告(3)	□
------	------------------------	----------------------------	---

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

課題に対して自発的・自律的に学習、情報収集、レポート、調査・実践活動などに取り組むこと。自らの興味に応じて様々な手段で学びを深め、取組み、自身で分からない疑問・問題等は、積極的に教員に質問・相談等を行うこと。（事前・事後で4時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

演習テーマに関連する様々な時事問題や雑学、あるいは受講者の問題意識に関連した事柄についても積極的に取り上げる。演習での課題のほか、進路・就職活動や学内・学外活動等の相談にも乗り個別面談アドバイスを行う。学習・取組みの成果は、今瀬研究室ホームページで情報発信する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018地域ビジネスDP2	協働による地域活性化の取組みを実施することができる。大学卒業に値する卒業論文（中間）を作成できる。
	◇ 2018地域ビジネスDP3	実社会で役立つ知識・ノウハウの基礎を身につけることができる。地域に貢献することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：授業期間中レポート

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	今瀬政司（2011）『地域主権時代の新しい公共 希望を拓くNPOと自治・協働改革』学芸出版社	978-4-7615-2525-5
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	演習テーマに関連した参考文献や実践的な経営情報等を随時紹介する。	
2		
3		
4		
5		